

まきどき・植えどき・収穫どき

どきどき情報 11月

野菜の作業

| 旬 | 種まき | 植付け | 収穫 | 栽培管理のポイント |
|----|--|--|---|--|
| 上旬 | エンドウ(秋まき) 品種：絹莢 | タラの木(芽) | ハクサイ～11中 葉ネギ～12上 サトイモ～11上 | タラの木は芽の活動が始まる前に定植し、剪定をして低い樹形に整える |
| 中旬 | パイプハウスを 活用しましょう！ | 茎刈り | シュンギク～11中 ダイコン～11下 | 野沢菜は2～3回霜にあわせると、ノリが出て軟らかくなり甘味も増す。 |
| 下旬 | 二十日大根 品種：コメット ハウレンソウ 品種：オーライ・トライ 小松菜 | アスパラガス 霜に遭って葉が黄化したら地際から刈り取る。病気の茎葉は焼却する。 | ニンジン～11下 野沢菜～11下 チンゲンサイ～12上 ナガイモ～12中 セリ～翌5月 小松菜～1月 | 小松菜は収穫まで60日を要す。30cmの通路を確保し幅150cmの畦を作り種前には十分な灌水を行って条間15cmに点播する。畦全体に不織布を掛けると出芽が安定する。間引きは本葉2枚の頃、株間3cm程度に行う。 |

野沢菜漬け

漬物の販売には保健所の許可が必要です。現在、加工許可に関する学習会を計画中です。

家庭の味をベースに新しい味にも挑戦してみましょう！

1) 醤油漬け【材料及び漬け方】

野沢菜・・・80Kg 塩・・・2.4Kg～2.8Kg
(材料の3～3.5%)

醤油・・・・・・・・一升 酒又は焼酎・・・一升
だしこんぶ・唐辛子漬物の素等・・・好みにより

- ①洗う前日に塩を少し振りかけて、ねかしておく。
- ②水切りを良くした桶に、よび水の代わりに四斗樽当たり醤油一升と焼酎一升を入れる。
- ③菜を並べては、塩と調味料をふり掛けながら、数段入れたら中蓋をし、重石を置いて水が上がるのを待ち、また其の上に漬け重ねる。

出典：つけものの味・ふるさとの味
(長野県農業改良協会編)



2) 味噌漬け【材料及び漬け方】

野沢菜・・・75Kg 煮干200g 塩2.2Kg(材料の3%) 水3割 味噌1Kg

その他、唐辛子・だしこんぶ・大豆・シソの実などを好みにより入れる

- ①煮干を水3割に入れだしをとる ②味噌をすり、だし汁を入れてよくかき混ぜる
- ③樽に塩を振り、だし昆布を敷き、菜をひと並べて味噌の出し汁を掛け唐辛子等を並べる(繰り返す)
- ④押し蓋をし50Kg程度の重石を乗せ、水が上がってきたら重石を軽くする。
- ⑤酸化防止のため、押し蓋の上にはいつも3cm程度の漬け汁があるようにしておく。

花の作業（秋咲き草花の採種の注意点）

タネをとる際のポイントは「適期を逃さない」こと！ 手持ちの植物からタネをとる場合、同じ植物の株が2つ以上あったら、生育のよい株からとります。とる時期が早すぎるとタネは未熟で、まいても発芽しません。遅すぎると、実がはじけ、植物が自分でタネをばらまいてしまう種類もあります。タネをとるタイミングは、タネが入っている莢が緑色から茶色や黒に変わった時です。

F1（エフワン）とは？ 両親が異なる系統や品種から得られた雑種の一代目（雑種第1代）
一般的に F1 は両親よりも耐病性が優れていたり、色がきれいだったりと優れた性質を示すので、現在多くの花や野菜で F1 の種が販売されています。しかし F1 どうしの掛け合わせから得られる F2（雑種第2代）は、花の色や大きさ、草丈などにばらつきが出ます。これは、F2 に F1 の性質だけでなく、F1 の親の性質も反映されるからです。従って F1 と同じ性質のものだけがほしい場合は、タネとりは行わずタネを買ったほうが確実です。

直売用切花 11月の作業

| 品目名 | 作型 | 11月の作業 | その後の管理 |
|----------|--------|--------|--|
| スターチス | ハウス無加温 | 種まき | 12月に鉢上げ、1月下旬定植 切花5月～育苗中は夜温8℃の確保が必要（二重カーテン） |
| その他多くの品目 | | 土づくり | 深耕を行い、有機質や石灰を施用します。土づくりには土壌診断を活用しましょう。 |

果樹の作業：【ふじの収穫と果樹類の元肥施用】

1) リンゴは「ふじ」の収穫時期です。

消費者も目が肥えてきており、お尻（がくあ部周辺）の地色確かめて購入をする方が増えてきました。熟度を確認して収穫して下さい。中旬以降には降霜が多くなります。樹上で-2℃以下になると果実が凍結することもあります。凍った果実は押し傷がつきやすいので、日中気温が上昇し溶けてから収穫を行います。何度も凍結したり極端な低温に遭うと果実が傷み貯蔵性が低下しますので収穫遅れにも注意して下さい。



2) 元肥について（今月下旬をめどに施用しましょう）【JA施肥基準：成園】

| 品目名 | 肥料名 | 施用量/10a | その他の肥料について（/10a） |
|--------|------|---------|-----------------------------|
| りんご | 果樹一号 | 100Kg | 9月：鶏糞 150Kg 11月：有機質 2,000Kg |
| ブルーベリー | 〃 | 120Kg | 9月：尿素 10Kg 11月：重焼りん 20Kg |
| 巨峰 | 〃 | 30Kg | 9月下旬：鶏糞 100Kg 11月：有機質 600Kg |
| ウメ | 〃 | 80Kg | 11月上旬：炭酸苦土石灰 100Kg |

※）施用量は上記（成園用）を参考に、樹勢や年生を考慮して適宜加減して下さい。

【以上、技術事項についての作成協力：上小農業改良普及センター（電話 25-7157「担当：白石主任」）】

直売センターよりのお知らせ